

はかるたいせつPROJECT

～「健康でいきいきとした毎日」はみんなの想い～



食の安全や健康づくりに取り組んでいます

「はかるたいせつプロジェクト」は、商品検査センター開設50周年の2017年にスタート。

商品はもちろん、一人ひとりの食習慣などを「はかる(計る、測る、量る)」ことで、

“健康づくり”のきっかけとなるよう取り組みをすすめています。



はかるたいせつプロジェクト

検索

たべるをはかる

東京大学の佐々木敏先生^{ささき とし}考案の「BDHQ食習慣調査票」を活用した学習会を開催。食習慣を見直すきっかけとなっています。



10月の「商品検査の日 つどい」では、「健康食品と食のリスクコミュニケーション」をテーマに学習会を開催。健康食品だけに頼らず、バランスの良い食事をとることの大切さをお知らせしました。また、ラジオ関西の番組内でコープこうべの情報をお知らせする『コープ・スコープ!』や、ラジオ関西Webメディア『ラジトピ』でも食品安全に関する情報を発信中です。



カラダをはかる

感染症予防や食中毒予防の基本は手洗い。手の汚れを調べる測定器を使った体験を通して、正しい手洗い手順の普及活動を行っています。



加齢により心身の活力が低下した状態「フレイル」。オンラインアンケートや学習会を開催し、フレイル予防を伝えています。



はかるをひろめる

店舗の共済相談会で、健康測定を実施。健康への関心を高めてもらうとともに、健康状態やライフステージに合わせた保障の提案を行っています。



まるごと健康チャレンジ



兵庫県内、大阪府内の生協の仲間と共に「まるごと健康チャレンジ」を実施。自分が選んだ健康づくりのプログラムを継続できるようサポートしました。



商品検査センターは2024年度、3520件の商品検査及び2811件のお申し出調査を行いました。詳細は広報誌『Hakaru(はかる)』をご覧ください。

